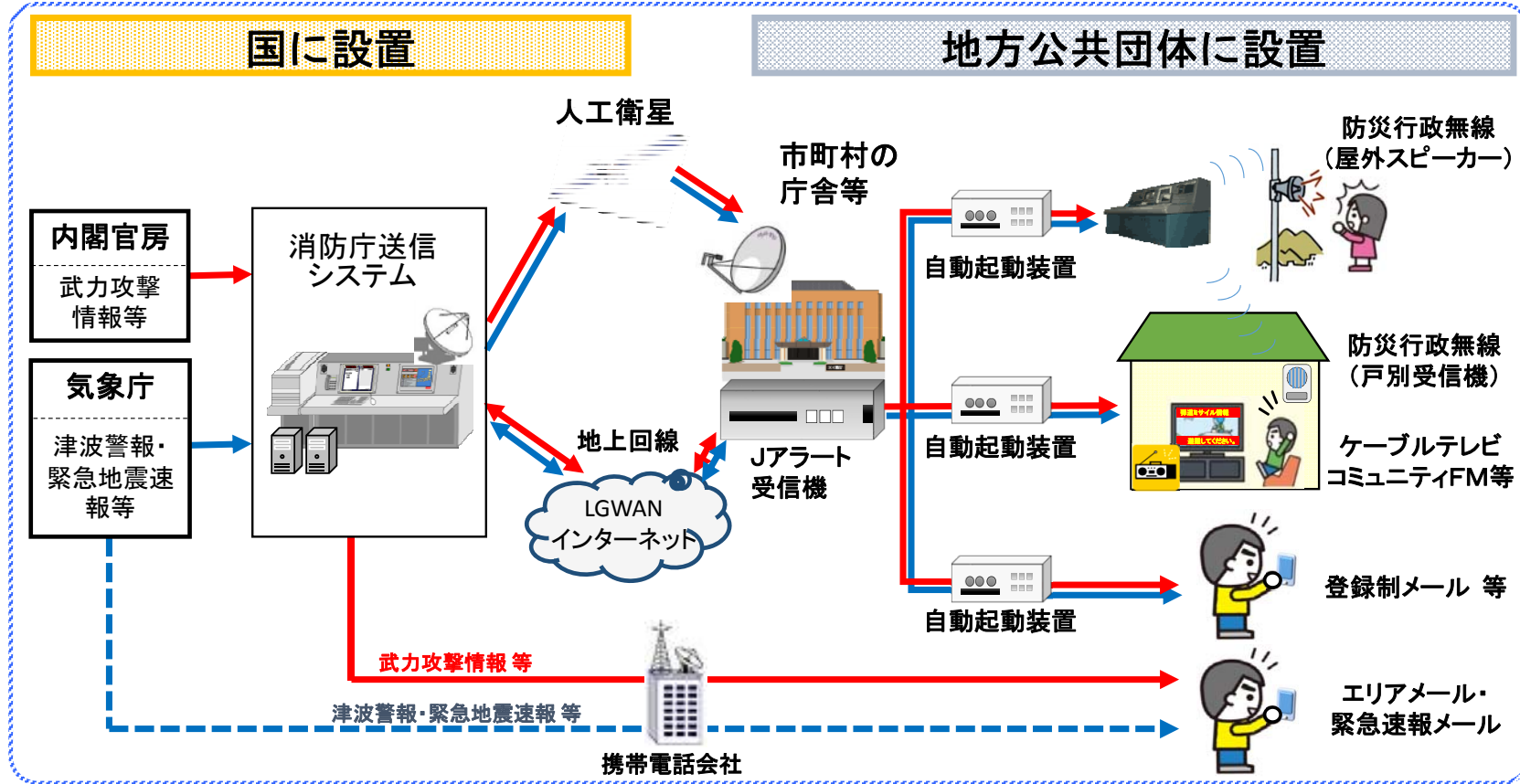


# Jアラートの概要

資料2-5



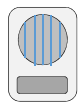

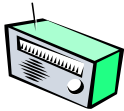

## ● 全国瞬時警報システム(Jアラート)とは

弾道ミサイル情報、津波警報、緊急地震速報など、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を国（内閣官房・気象庁から消防庁を経由）から送信し、市町村防災行政無線（同報系）等を自動起動することにより、国から住民まで緊急情報を瞬時に伝達するシステム



## ● Jアラートと連携する情報伝達手段

Jアラートの受信機は、様々な情報伝達手段との連携が可能。人手を介さず情報伝達手段を起動させることができる自動起動装置の導入により、迅速・確実に緊急情報を住民へ伝達することができる。

情報伝達手段の例	端末	特徴
市町村防災行政無線(同報系)	屋外スピーカー 戸別受信機 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村庁舎と地域住民とを結ぶ無線網</li> <li>・地域住民に一斉伝達可能</li> <li>・公園や学校等に設置されたスピーカー(屋外拡声子局)や各世帯に設置された戸別受信機を活用</li> </ul>
MCA無線		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子局設備、移動無線による双方向通信が可能</li> <li>・汎用品で構成されるため、安価に構築可能</li> <li>・自由度が高く、どの端末も統制局として利用可能</li> <li>・(財)移動無線センターの設備を利用するため中継設備等の費用が不要</li> <li>・自治会等から地域内に向けた放送が可能</li> </ul>
IP告知端末	IP告知端末 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IPネットワークであるため、汎用性があり、防災用途以外にも活用可能</li> <li>・ラジオ兼用の戸別受信機等もある。</li> </ul>
CATV(ケーブルテレビ)	 テレビ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケーブルテレビ網を活用し、音声を伝達。</li> <li>・テレビ画面でテロップ等の文字情報を伝達することも可能</li> </ul>
コミュニティFM	ラジオ 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のFMラジオ局を活用可能</li> <li>・同報無線より起動時間が早い</li> <li>・屋外スピーカーは同報無線より安価に整備可能</li> <li>・戸別受信機は平常時はラジオとして活用可</li> </ul>
登録制メール	 PC、携帯電話	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の自治体の防災情報メールを活用可能</li> <li>・あらかじめ利用登録した職員、住民へメール送信</li> </ul>